

2年生 ブリティッシュスクール交流 1月15日(木)

2B 児童

わたしはブリティッシュスクールのバディーさんにひさしぶりに会えてうれしかったです。日本のむかし遊びでは、バディーさんはけん玉が初めてだからむずかしいかなと思ったらとても上手でびっくりしました。もう一人はやり方が分かっていないからけん玉をぶんぶん振り回していたので、わたしがやり方を教えてあげました。スカベンジャー・ハントではピーポくんをさがすのがたいへんでした。むずかしかったけれどみんなで協力して楽しくできました。さいごにえいごがかりみんなでおわりのことばを言いました。きちんとちょうどしたけれどバディーさんがはく手してくれてうれしかったです。またバディーさんたちと遊びたいです。



すずかけ 昔のお話・昔の遊び(1月19日～1月21日)

担当教諭

今年度も「すずかけ 昔のお話・昔の遊び」の授業を、白菊会会長様はじめ、白菊会の方々14名をお迎えして実施いたしました。昔のお話では、当時のお給食のメニューや校外学習の様子を伺い、女学館が歩んできた長い歴史と受け継がれてきた伝統の重みを感じることができました。特に6年生は戦後のお話を伺い、「学校へ通えること」が決して当たり前ではないという事実を改めて感じ、平和への感謝を深める貴重な時間となりました。

昔の遊びでは、1・2年生は「あやとり」、3・4年生は「おはじき」、5・6年生は「お手玉」を教えていただきました。1・2年生のあやとりでは「指ぬき手品」や、形が次々と変わる「ほうき一竹やぶの一軒家」などの技に挑戦する姿が見られ、和やかな交流の場となりました。3・4年生のおはじきでは、指先の感覚を研ぎ澄ませながら、真剣にかつ楽しく対戦する姿が見られました。また、5・6年生のお手玉では、アドバイスを受けながらリズムよくお手玉を操り、各グループで一体感が生まれていました。

卒業生の皆様との交流を通じて、子どもたちは「先輩方のような素敵な女性になりたい」という憧れとともに、これまで大切にされてきた伝統に恥じぬよう、自らの生活態度を改めて見直す貴重な機会となりました。今回もご来校いただいた白菊会の皆様に、心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

3B 児童

昔のきゅう食はよう食だったことにびっくりしました。竹馬があつたとうかがってわたしもやりたくなりました。昔にタイムスリップしてみたいです。

3B 児童

わたしはおはじきをはじいて遊んだことがなくて、とても面白い遊びだということに気がつきました。けっか、15こもおはじきを取れてとってもうれしかったです。



避難訓練 1月26日(月)

担当 教諭

今回の避難訓練では、理科室から出火した想定で避難を行いました。寒い中の訓練となりましたが、放送や指示をよく聞き、落ち着いて、安全に避難することができました。

また、今回の訓練から避難時の合言葉である「お・か・し・も」に「危険なものに近づかない」「ち」が加わり、「お・か・し・も・ち」になりました。災害時には、火や煙、倒れた物、割れたガラスなど、周囲にさまざまな危険が潜んでいます。そうしたものに近づかない意識をもつことの大切さについて、改めて全校で確認する機会となりました。ご家庭でも折に触れて、自然災害についてのお話や緊急時にどのように行動するか、どこに避難するかなどについて、ぜひ話題にしていただければと思います。



2年生 「犬とのふれあい」 シモゾノ学園国際動物専門学校 1月29日(木)

2A 児童

わたしは犬をかっています。でも1匹なので、いろいろなワンちゃんをなでたり、ごはんをあげたり、だっこをしたりできてうれしかったです。いろいろなワンちゃんとお友だちになれたと思います。ドッグダンスもすごく上手でした。とくにすごかったのはリードなしで音楽にのってダンスしていたのがすごかったです。わたしも大きくなったら犬とダンスしたいです。



すずかけ 百人一首(1月13日～1月30日)

担当教諭

今年度も盛永校長先生にご担当いただき、「すずかけ 百人一首」を実施いたしました。百人一首の基本的な知識を分かりやすく教えていただいた後、二人一組で対戦しました。学年が上がるにつれその熱気は高まり、高学年の対戦では、校長先生が息を吸い、上の句の最初の一文字を発した瞬間に「はい！」と力強く札をとる音が響き渡りました。また、同時に取った時には、相手に札を譲り合う微笑ましい光景もありました。6年生にとって、百人一首の授業が「すずかけ」を締めくくる最後の時間となり、真剣勝負の中にも相手を敬い思いやる礼儀正しさが自然と現れる姿に、6年間で育まれた日本人女性らしい品格と成長を感じる感慨深い締めくくりとなりました。

1A 児童

たのしくてもう一かいやりたくなりました。校ちょう先生がよむときにメロディーが上手でびっくりしました。おうちでかるたをするときは、ばらばらにしてやっているけど、ならべるパターンがあるのがおもしろかったです。おうちでもやりたくなりました。こんど2年生になってもやりたいです。

4B 児童

初めての句が多かったけれど、校長先生が「ちょっとした空き時間に上の句を覚えるといいよ」とおっしゃったので、次の句が読み上げられるまで必死で覚えました。上の句で取れた回数は多かったけれど、お手付きを何回かしてしまい2回負けてくやしかったので、もっと上の句も分かる札を増やしたいです。私の好きな句は、「世の中よ道こそなけれ思ひいる 山の奥にも鹿ぞ鳴くなる」です。世の中には悲しみやつらさをのがれる方法などないのだという言葉がしんみりと心にしみます。

6B 児童

百人一首の授業では、読み札から聞こえてくる言葉を通して、今の私たちの話し方とはまったく異なる世界を味わうことができました。携帯がない時代に、季節の様子や自分の気持ちを込めて言葉一つひとつを、今よりもずっと大切にしていたことに気づきました。狙っていた札が自分の手でバシッと取れた時は、とても気持ちよく、クラスの中が熱気に包まれていました。6年生最後のすずかけのお授業で、クラスのみんなと日本の伝統的な遊びで盛り上がることができ、よい思い出になりました。

通学路別下校訓練 1月20日(火)

担当 教諭

通学路別下校訓練 1月20日(火)

同じ通学路のグループが集まって一緒に安全に下校をする訓練を行いました。1、2学期と同様、はじめに全校児童が体育館に集まりました。1月の生活目標「学校の行き帰りに気をつける」を確認し、乗り物のマナー、交通事故の防止、自分の身を守る行動についてお話を真剣に聞いていました。その後、呼ばれた班から静かに昇降口で並びました。今年度、3回目ということもあり、各班慣れている様子で上級生が点呼をとり、人数確認をしていました。下級生にとっても一緒の通学路のお姉様を覚えて心強くなったことでしょう。これからも助け合って安全に登下校することを続けてほしいと願っています。

2月の行事



「行事予定」は非公開とさせていただきます。